待望の學制改革

吹くよ！幼き絶讃の嵐

【其の五】

新たな希望と歡喜に滿つ
一層勉學に勵む

羅南女高普三　韓富學

職役の春を迎へて我々半島同胞の宿望たりし教育令改正又志願兵制度は實施せられ　天皇陛下の一視同仁の御思召に誠に感激に堪へない次第であります。我々二千萬同胞の希望と覺悟とを新にし第三の國民として全く内鮮區別をなからしめるとの制度は實に有難いとで今後の半島の男子は祖國を護る軍人として半島の女性はより强い女性となつて銃後を守ることでせう私達の頭に直感的に强く響いたのは共學制でありまして、これからは内地人の方と全く同じ學校で同じ教育を受けることを考へる時、私達の胸は唯々歡喜と希望とに滿たされます、私達は今や一人前の日本人になつたやうな氣が致します、この有難い共學制は私達に如何に大なる希望と覺悟とを與へたことでせう、此の上は過去にも増して一層の勉學をして一日も早く内地人の方と歩調を合はせねばならないと思ひます、私共は一日も早く共學制が實施されるを期待しており、名實共に日本化し、校名の改まる日を待つて居ります、そして大君の一視同仁のお慈しみに感激しつゝ樂しく勉學に修養にいそしんで參りたいと存じます

無上の幸福
鏡城女高普四　B組　朴元虎

我々は日本人と呼ばれながら、何となく物足らない境地に居た。然しこの物足らなさは、今や完全に我等の頭上から、消え去る日は到達したのだ『内鮮共學制度！』『志願兵制度！』なんと力强く私達の胸を打つたことか！今迄これを待つ爲に生きて來たやうな氣持さへする、全く有難い世に生を享けたものだと今更の如く感激に身を戰かせるのである
『我等は幸福だ！』と云ふ感が深く胸にこびりついて離れない、此で全く大日本臣民となれたのだ、これで肩身の狹い感を抱かずとも良いのだ、今迄はとかく遺憾に思ひ又非有る度に痛切に感じた事は内地人子弟と同じ教室に於て手を取り合ひ睦まじく學ぶ事の出來なかつた事であつた、これが一つ、又一つは現に我が皇軍の勇猛果敢一死報國の精神の動作を目のあたりに眺めながら、しかもそれが我々には實現出來ず、湧る血潮を胸へながら、手を拱いて居なければならない事であつた、然るに我等同胞の今次の赤誠の一端が認められ當局者の適切な處置と相俟つて茲に内鮮共學制度の實現を見るに至り、志願兵制度も實施の運びとなつた、これ一に、一視同仁の御物に他ならないのである、あゝ！この聖恩！如何にして報いんか今は只努力奮勵し皇國臣民たるの資質を養ひ、其の責務を全うする上にあるのみ！これ又我等の無上の幸福なりと信ずる

内鮮融和はすでに遺物
朝鮮語は地方的の方言

鏡城農業四　金九容

半島は日韓合併以來目ざましい發展した、これをその古日進月歩進歩振りで遂に今日の如くあらゆる制度、あらゆる設備が内地と同一水準にまで擧げられたこれ皆御聖代大皇の一視同仁の御仁政の賜物でたゞ〳〵感激に堪へない、半島の津々浦々にまで日支事變に對する愛國美談があるのは眞に感ずるところあつての、半島臣民の赤心の表はれである、愛國心に内鮮區別あるわけはない、萬世一系の天皇を戴いてゐる帝國臣民に二心あるわけはない、故に内鮮無差別又一歩進んで内鮮平等でなければならない、内鮮共學は實に此所に根據を置いてゐる、さて日韓合併當時は日本語を解する者が少く、已む得ず内鮮人別に教育せねばならなかつた、今や半島同胞が國語を解せないことを大きな恥と思ふまでに同胞の理解が進んで來た、これ一般民衆が聰明となり時局認識時學明瞭によるものである
非常時局に半島日本化は國家のこれ以上ない强味である、内鮮融和の時代はとうに過ぎ去つて了つた感學者が、日本語（標準語）を分類して關東語、關西語、九州語、沖繩語といふ風に地方別に分類し朝鮮語も日本語の中に入れてゐる、對馬人は日本語に大分朝鮮語を混同して用ひるさうで、これは本州と朝鮮の媒介地點にあるからで朝鮮語は地方的慣用語即ち方言に過ぎないといつてゐるのは首肯すべき點である、そして標準語を知るといふことは國民として當然のことである。これはエスペラント語を世界標準語としようといふ譯へに依つてもよく納得出來る、その意味に依つても内鮮共學は實に時宜に適した先見の明ある制度で眼る、今半島は今や樂土たらんとしてゐる、旭日輝かんとしてゐる、銃と執る人、算盤をはじく人、ヘンマーを振る人、皆滿面微笑を浮べて、『生きる』といふ眞の有難味を感じてゐる『生きる』歡喜は努力、即ち人並に否、人並以上に自己の生活を向上させる所以である、朝鮮同胞は完全に曖昧の域を脱出してゐる、智と言ひ能と言ひ德と言ひ内地人同等の基準線に達してゐる故に内鮮共に歩調揃へて行進せねばならぬ

この上なき幸福
雄基普六　金完純

我々の最も希望する國制が布かれ茲に於て學校名は小學校、中學校高等女學校と統一され實に内鮮共學の道は開かれたのである、これは全く上天皇陛下の一視同仁による御思召によるもので我々は實に幸福だ、我々も内地人と少しも變らぬ忠良なる國民となつて、聖恩に報ずる覺悟と決心を持たねばならない

入學おめでたう

鎭海高女校
久保田京子、池田トミ、李昌玉、朴成鏡、稻光光子、德田尙子、田中順子、荒川早苗、松浦ノカヨ、岡本陰英、柳原千秋、金乙順、張田静、高野淳子、許鶴姫、吉田君美子、松山龍子、過能哲子、永島富子、内田政江、大山鈴子、横内静子、德弘悦子、山口惠子、岩見玲子、荒野清枝、太田幸枝、篠田俊枝、杉山茂子、濱崎フミヱ、和田和子、荒木幸子、岡崎久子、小澤昌子、原百合子、田村禮子、篠原サチ子、須藤禮子、岡田雅子、原田玲子、藤原君惠、森貞淳、大野信子、高橋記美子、安原静子、平野伸子、小荒井とも子、福田澄子、吉岡和美、坂井淳子、岩崎淳子、高橋秀代、李申徳、渡邊初子、山中京美子、吉野朝子、齋見久代、松田清惠、東條榮子、下田綾子、柳本千里、田中良子、井村伊、金德仙、東慶子、雄尤之、金淳玉、大石千枝子、吉田芳子、岩田［illegible］

清津高女
［illegible］

新義州高女
安達都枝、味村淑子、石川文子、一安綾枝、井上淑子、内尾梅子、江剛淳子、大内ひでヘデ、大野紀子、大羽千代子、岡村豊子、大久保榮子、木村外喜子、小島悦子、佐方千代、佐藤ヒデ、高橋榮子、高橋花枝、中畑尚榮、長谷川ミチ子、林田トシ子、福田操子、藤田ろひ子、藤原千代、堀尾百合子、松田久榮、美座教、皆木緑富茂、芳賀シゲ子、宮内美代子、宮島玲子、村田文子、森本セツ子、横江君子、吉岡榮代子、吉川美代子、吉武廉江、米倉満子、劉良［illegible］（五十音順）

教育費が論議中心
張議員奇聲張り上げ大力み
四日目の黄海道會

【海州】四日目黄海道會は六日午後一時開會、勝頭張奉河（延白）議員より
中學學校の共學促進に就ては當局の所見如何▲普通學校の授業料免除の意志なきか▲道路改修の必要あり舗裝の少なさは如何なる理由か▲土城沙里院安峰間の鐵道の廣軌は如何▲農村振興の施設上現在のやり方は民度に適せると思ふか▲道の經濟上より負擔の輕減の必要それに對する意見如何、之に對して面廢合の意志はないか▲牛車稅自轉車稅を廢し自轉車稅選興稅を上げる意志はないか▲現在の水產學校は卒業生の狀態から見て不完備である改善の意志はないか▲人事行政は適材適所にやつてゐるか
と質問しこれに對し佐々木内務部長、小高學務、鵜保安兩課長より
中等學校共學は目下研究中、授業料免除は義務教育にでもなれば免除されるであらう▲道路の舗裝は本年は本府より差止められたので本道では昨年度の分沙里院州の本道りをやる豫定である▲鐵道の廣軌は極力實施すべく運動してゐる▲農村施設は民度に適する施設をしてゐると信ずる▲道民の負擔輕減は望んでゐる▲面の廢合は成案を得てゐる八ケ郡二十五ケ面である▲水產學校は從前が不完備で改善したのである▲自轉車稅は率を下げて今日に至る牛車稅は現在のところ今日以下に下げられぬ▲寄附金は十一年度に於て十萬圓であつたがその六割六分は一面一校の完成學級增加の爲で募集方法は戸別稅の附加を禁じ又强制寄附は禁じてある
と交々答辯し次いで李知事人事行政につき答辯し、李興雄（谷山）議員は教育刷新、私立學校の補助商業學校の設立の必要を說いて當局の意見を問ひ小高學務課長と佐々木内務部長、三上地方課長より懇切に答辯、ついで
▲松本利雄（鳳山）議員　載寧江の架橋は大正元年來の問題であるが今に架橋されず架橋の意志はあるか、沙里院廢川の處分は何時までも解決せぬ困つてゐるが何時解決するのか又どんな考へでゐるか、沙里院水道は急設を要するそれには先年の寶知せし電雄の十五萬圓を使用は出來ざるか、豫算面の道の不用財產十八萬圓は直に處分しては如何
▲加藤土木課長　載寧江の架橋は費用四十萬圓を要する故國費の補助を得なければ不可能である沙里院の廢川は當局も必要を感じてゐるが種々の事情で今日に處分が出來ぬを遺憾に思ふ
▲佐々木内務部長　は沙里院の水道は必要を認めてゐる、電雄を賣つた基本金を使ふことは考へものである、道の不用財產を今日處分することはその時期でないと思ふ
の問答があつて午後四時十五分散會

議場雜觀

四日目日曜日にかゝはらず熱心に議事を進めてゐるが本年は新議員が多いため晩晉氣分が乘らず▲質問だつて急所を突く事が少く參與員諸君も居眠りが多い▲特頭新顏を張り上げてやつた延白郡の張奉河君は失言があつたらどうかよろしくと記者席にご挨拶それでも議論は堂々たるもの▲沙里院の松本利雄君『おれも民選だ思ふことはやるべし』と熱弁を振つて質問は兎に角一ぬかりのないだけあつて採まれた質問振り先づ恥かしからずとほめておく▲官選議員のつらさ口を封じられたと辯解しないが一言半句もなくただ居眠りばかり、あれでは欠席して内緒で寢た方が樂ではないかとは傍聽席の惡口▲出席議員が土木質問を無茶苦茶に破するとか野次れば何もいはぬやうでは會議無用と怒る▲日曜日に休む休まぬで決をとつた失敗は昔總明美議員でもよくわかつてゐる、其熱心を買つてあまりいつまでグズ〳〵言はぬがよい

傳馬船一隻も
動けぬ濃霧
關釜連絡船は三時間延着
釜山近海の珍現象

【釜山】去る五日朝來釜山近海を襲つた稀有の濃霧は流石の關釜連絡船も三時間延着といふ記錄を作つて船客を面喰はしたが視界を封じた濃霧の威力は連絡船ばかりでなく、釜山港出入の大小船舶をはじめ沿岸航路を全く封鎖した結果、傳馬船一隻の動きもなかつた、水上署でもこんな現象は珍らしいと語つてゐた

琿春大金紛失事件解決

【延吉】間島省琿春金融會では去る二十日午前零時四十分頃滿洲中央銀行琿春支行から同會給仕李龍徹が現金五千五百三十圓を受取つて歸る途中で紛失したので、急報に接した琿春警察署では新聞機載を禁止するとゝもに間島方面は勿論北鮮方面まで搜索網を張り、不眠不休で犯人檢擧に活躍中の處ろ琿春警察特務科洪奎氏は去る二月十五日午前十一時市内森本組滞入者力高延玉（二）を容疑者として檢擧し嚴重取調べの結果、高は事件發生の同日の十時四十五分頃中央銀行前で風呂敷に包んだ現金を拾得横領したことを自白した、犯人は事實の發覺を恐れて同行者に一千五百三十圓を渡して自分が四千圓を持つて琿春脫出の機會を狙つてゐたものである、また同府中の雜金事は一回に亘り横領金のうちから二百五十圓を借用した事實が判り同人も檢擧取調中である

船中でお産
清津に因み
清君と命名

【清津】日本海汽船日滿連絡船天草丸は三日午前十一時清津に入港したが、船客中の名古屋市中區［illegible］巳町八五關分節子さん（三）は北鮮行軍艦一行十名であつた

二百圓持逃げ
三中井の店員

【釜山】京城　本町三中井　百貨店店員船田八太（二八）は店の金二百圓を拐帶し六日午前十一時四十五分發の連絡船に乘船せんとするのを水上署員に發見され同署に留置中

鐵泥棒横行

【大邱】府内元町機械商忽那商店若林商店、貯蓄銀行等では去る二［illegible］

柳京觀光客
協會は準備に大童

【平壤】觀光都市平壤の名は工都としての躍進と共に一層そのレベルを上げ年々觀光客の來訪はその數を加へてゐるが大同江の氷もまだ解けやらぬ昨今早くも府觀光協會あたりには頻りに觀光團體の申込みが飛び込んで來るので諸般の準備に忙殺されてゐる、五日までに鐵道事務所を通じて申込んだ三月中の團體だけでも七ケ團體で先づ今年のトップを切つたのは六日來壤した栃木縣織物問屋組合の［illegible］

新設大同專門校
第一回の新入生を募集
第三中學は幾分遲延

【平壤】平壤にかける大同工業專門學校は愈よ新學期と共に第一回の入學生を募集することになつてゐるが、準備の關係で入學試驗の實施は幾分遲れる模樣である、第三中の後身第三公立中學校は平南道の豫算關係で一、二ケ月遲れるものと豫想されており第二高女高普は豫定通り一學級乃至學級增設入學試驗を行つてゐる

阿片密輸男

【大邱】去る二十八日午後十時頃府内南山町派出所の前を通行する擧動不審の男を同派出所員市巡査が取調べると右は慶北高靈郡牛谷面稷心洞朴［illegible］で阿片を持つており、追［illegible］

會寧學組豫算會議

【會寧】會寧學校組合十三年度歲入出豫算會議は［一日］午前十時から邑事務所會議室で開催、左記三議案を審議午後四時原案無修正承認可決した
十三年度歲入出豫算▲同組合議課率▲小學校授業料規定改正の件
◇
新豫算は歲入出五萬一千八百六［illegible］

咸南水產會の漁村巡回診療

【咸興】咸南水產會の漁村巡回診療は道衛生課松本技手、田上雇員により左記の十ケ所に實施される
七日端川汀石津▲八日利原東面文島里▲九日利原面遮湖里▲十日高昌面晩春里▲廿三日新浦島西石井興里▲廿四日新浦六站里▲廿五日洪原前津面▲廿七廿六日洪原雲鶴面▲廿八日西湖津日咸州退潮面

十二圓、組合歲課率は十二年度歲課率一戸當り平均十九圓七錢に對し十三年度は二十五圓五十一錢となり昨年度より一戸當り六圓四十四錢の負擔增加、學校授業料規定改正は現在高等科六十錢、尋常科三十錢、一家二人以上通學の子弟は半額であつたが新年度からは清津、城津、雄基等と同率の高等科八十錢、尋常科四十錢、一家二人以上通學は半額に改正すると共に決定した

個人所得から見た
元山の長者は誰？
十萬圓以上の納稅者は三人

【元山】個人所得から眺めた元山の長者は？……元山稅務署の調査によると昭和十二年中における第三種所得收入で一萬圓以上の年收者は元山府内で七十一人あり最高は内地人某氏の十五萬四千圓となつてゐる、うち内地人は五十七人で朝鮮人は十四人であるが朝鮮人側の最高者は四萬九千圓とちよつと開きがある、この中でも五萬圓以上は十指に足らず更に十萬圓以上となると僅かに三名に過ぎなくなつてしまふ、なほ同稅務署内の最高所得者は安邊の鑛山主金仁錫氏で年收ざつと十七萬圓に達してゐる

冰菓營業取締規則
この夏から咸南に公布

【咸興】夏の賣物アイス・ケーキ、アイスキャンデー、アイスタリーム等がやゝもすれば不潔、非衞生的な製造や販賣に陷り易く唯さへ消化器系統の傳染病原となり易い實情に鑑み咸南衞生課では今夏から道令の『冰菓營業取締規則』を公布しこれが製造、販賣、請賣業者に徹底した取締を加ふべく道令案を審議中である

今春最初の大同江自殺

【平壤】四日午後三時過ぎ普通江の氷の割れ目から江中に飛び込み自殺をはかつた半島婦人を通行人が發見して救助、新陽里派出所に突き出したが、意識不明で身元が［illegible］

別莊に留置願ひ
賭博狂の夫に愛想つかし
牛肉屋の細君憤慨

【元山】賭博狂の夫に愛想をつかした細君から留置延長の珍願ひ……府内銘石洞一四三番地肉商鄭平日（三）は生來の賭博好きで去る三日朝賭と自宅で賭博を開帳中になつてゐるところを元山署員に檢擧されて目下留置中であるが、同人の妻［illegible］朴さんは四日朝同署を訪れ「自分の夫ながら始末に負へぬから留置期間を延ばして懲らしてやつて下さい」と願出て係官を面喰はせた

全寶金鑛落磐
鑛夫二名即死

【光州】四日午後五時半頃寶城郡文德面鳳亭里全寶金鑛内で導火線を持つて爆破に入つた鑛夫魔水部落村面朱理燮、寶城郡文德面尹甚實（二〇）の兩人は爆破と同時に大落磐のため即死を遂げた

兄弟感電即死

【咸興】安邊郡新茅面別下山里金寶順（三）金寶順（三）この兄弟は二日午前一時ごろ知人を訪ねて歸宅を急ぐ途中、同里の路上で咸南合同電氣の日本鑛業　黃龍鑛山　送電線（一萬二千ボルト）が折損の大警［illegible］

大膽な少年泥
三回目に御用

【平壤】五日午前三時半頃府内下水口里三三五雜貨商鄭統權方に一名の賊が侵入、懷中電燈で物色中を店員が發見、これを取押へ平壤署につき出した、右は府内仁興里三六李玉淑（一）といひ本名來同店に二回侵入、價格七百餘圓の雜貨類を盜み出し大膽にも行商をやつてゐたことを自白、餘罪多數ある見込みで引つゞき嚴重取調べ中である

枕木に衝突
機關手ら負傷

【京城】去る三日午前十一時ごろ雄基驛線（雄基驛より約一キロの地點）で機關車が前面の枕木に衝突し乘務員二名が負傷した事件がある……右地點は目下京城土木請負の下に改良工事を施してゐるが當日路盤線の入換機關車が雄基驛から進行中工事現場の旗振り人夫は改良工事用の軌道枕木が鐵道線路に突出してゐるのに氣付かず白旗を振つて安全信號を發したため機關車が進行するや、前面の排障機がこの突出した軌道枕木に衝突して切斷してゐるのに觸れ瞬時も御動を喫つて機關車乘務員太田浦助（三）谷三段（三）の二名は機關車から墜落して太田君は打撲傷を谷君は右手指四本を切斷された雄基署では急報に接し直ちに現場檢證の上直接工事關係者たる京城土木配下業及び旗振り人夫を引致取調中であるがこの事件の責任が何れにあるか興味ある事件として注目されてゐる、なほ負傷者は直ちに滿鐵病院に擔ぎ込み應急手當を加へたので生命には別狀ないらしい

廿九度四十五分、東經百廿二度の地點で濃霧につき同日午後八時二十四分至のやうな男子出產、兵隊が一人殖えたと船中は大喜び、同船の群馬縣移民隊九十二名も帝先きよしと萬歲を唱へるなど日本海の眞ッ只中で非常時に相應しての欣を上げた、船長杉浦幾次郎氏は滿洲の名に因んで滿君と名づけ母子も元氣、滿洲に上陸した

中……日以來每夜の如く機械、機械類を盜まれてゐるが不良少年の行爲ではないかと大邱署で目下犯人搜査

獨の承認で慶祝大會

【安東】防共の契りも固き獨逸の滿洲國正式承認は十日前後と見られてゐるが、これによつて滿洲國の世界的地位はいよ〳〵高められ防共陣はますます〳〵强固を加へて來るので獨逸の正式承認を機に全滿擧げての國民的感謝と親善を表し親善關係を深くするため協和會主催の下に全滿一齊に日滿獨伊國旗六ケ國の國旗を飾立慶祝大會を開くこととなつた、承認通告が來る一日以前の場合は十二日に一齊に慶祝大會を行ふ豫定で、安東では協和會安東市本部主催の下に大會を開きまづ六ケ國旗を並に旗手の決議をなし、終つて慶祝旗行列に移る豫定で、その行進は六列側面縱隊で一縱列每に各國の國旗を持つか或ひは六隊を六ヶ小隊に分ち各々小隊別に各國の國旗を持たしめる筈で、當日は全市各團體並に各學校生徒を動員する計畫である

人の牛を賣り代金横領

【新義州】四日午前七時十二分新義州通過の北行列車内に擧動不審の男がゐるのを平北移動警察が發見取調べの結果右は慶北醴泉郡甘泉面新石洞權奉鎭（三）といひ先月二十九日慈州郡慈州面文亭里の鄭左姬（云）方に行つて一泊、歸途本木運搬のため牛を借りて歸つたがその牛を同日甘泉市場で百圓で賣飛ばしたが、これを知つた同地金泰來（三）に恐喝されて四十圓を捲き上げられたことを自白した、ひきつゞき取調べ中

無許可で開墾

【沙里院】畑地の多い西鍾面海浦里、興壽里地方では近年無許可で畓に開墾するもの多いので既成畓地帶では之れの爲め用水不足をきたすは必然なりと關係者は目下徹底的對策を講究中

藤澤大佐待命

【京城】工兵第十九聯隊長工兵大佐藤澤一學氏は今回の陸軍異動で待命となり近く勇退するが同大佐は昭和九年八月着任以來滿三年五ケ月の長期間の聯隊長で、技術の權威者として知られ殊に溫厚篤實な稀に見る武人として同聯隊の將兵はもとより一般市民からも甚だ惜まれ今回の勇退を惜まれてゐる

服毒自殺

【釜山】午後三時府内大新町五五六郭三祚（三）は自宅座敷で殺鼠劑を服用、自殺してゐるのを附近の人々が發見したが原因は病氣を苦にした揚句らしい

元山ラ式チーム新陣容とゝのふ

【元山】北鮮最强を誇る元山府體協のラグビー・チームの今年の新陣容はこの程成り四月には立教大學、京城經專などの强剛を迎へる豫定で岡本主將以下各選手は新陣の意氣物凄く八日から猛練習を開始することゝなつた

あど・ばるーん

……【大田】世は非常時！こゝ忠南警察部では進めよ殖やせよの子寶報國の子寶調べ
……さてゐるは〳〵四人以上の子寶組ザツと數十名、その中の秋餘新田刑事課長は六人の谷川警務主任、天安の沈元溪巡査がそれ〳〵七人の横綱組
……ところで進化率（?）でみると谷川警部が六男一女、沈巡査は男五、女二この點幹部の森田部長は正に兵隊さんばかり六人といふ豪勢ぶり
……幹部級では小池保安課長の四男二女、島山部長の一男一女その間には橋本警務のチョンガーの可哀想みたいな人もある

趣味とスポーツ　十秋畫

待望のシロタ教授
ピアノ演奏の極致點
安藤芳亮

今日一般の人々に最も多く親しまれて居る樂器であり乍ら、最も多く親しまれない音樂はピアノではないでせうか、私はよく『ピアノ音樂はどうもわからない』とか『面白くない』と云ふ事を耳にしますし、レコード屋さんに尋ねて見ても『ピアノのレコードが一番賣れません』と云ふ樣な事を聞きます、何故此のやうに一般の方々にピアノ音樂が取り付きにくいのでせう

それにはいろ／＼ありませうが私は主に次の二點ではないかと思つて居ります、卽ち、

第一にヴァイオリン、マンドリン等の如く、單旋律で線的でないことであります、御承知の通りピアノで演奏する音樂の多くは、幾多の旋律が同時に奏されると共に、縱の關係に於ては極めて立體的な音の塊―少し專門的な言葉を借りますと、和聲―を生のまゝでどし／＼使つて居ります。でありますから之等の旋律を捉へ、そこに出て來る音の塊の妙味がわからなければ、ピアノ音樂は何のことだかわからなくなるのであります、ピアノ音樂は平屋建と云ふよりは高層建築の美觀でありませう

第二に、ピアノはピアノ自體完全なる演奏體（單音樂器の獨奏の多くの場合に於ける如き他樂器の伴奏を必要としない）でありますから旋律と伴奏部或は主旋律と副旋律とが同一樂器內で演奏される爲音色が同一となり、之を聽き出すことが困難なことであります。オーケストラの樣に各種の樂器が集合してゐる場合には、夫々樂器によつて音色が異つて居りますから、之が比較的明瞭に聽き取れるのでありますが、ピアノの場合オーケストラを同一樂器で演奏して居る樣なものですから、其の旋律及び其の旋律の變化の面白味が味得出來ないのであります

以上の二點はピアノを自ら演奏する場合にも六ケ敷い問題でありまして、ピアノ演奏會は隨分多いのでありますが、不幸にして私は之等の妙味を十分心ゆくまで聽かしてくれる演奏にあまり多く接しないのであります。

今回京城日報社によつて招聘されるレオ・シロタ教授は、此の方面にかけては天才的な人であると云はれて居ります。少くともレコードを通してラヂオを通して聽いた所でもさう感じられます。

京城に於けるピアノ演奏會として曩にレオニード・クロイツアー教授、アンリー・ジルマルシエックス氏、古くはコハンスキー教授のリサイタルがありましたが、之等と共に最も期待の出來るまた何時迄も印象に殘る演奏會ではないかと、二十二日の夜を鶴首して居るもの、一人であります。

停年教授列傳〔6〕
田中城大教授の恩師瀧博士
藤村愛夫

がつちりした體格、漆黑の頭髮、拭きぬいたやうな顏のつや、どう多く見てもせいぜい五十位。もう數年前に、停年で大學を退いたのだといつたところで、誰が之を眞に受ける者があらう。それほど瀧博士はエネルギッシュで若々しい風貌の持主である。學者の養老院といはるゝ帝國學士院の會員中にも、東大の片山正夫、谷津直秀、加藤武夫、西川正治、掛谷宗一、牧野英一、池內宏、朝比奈泰彥、平賀讓、穗積重遠、京大の村田孝、東北大の神津俶祐、矢部長克、藤原松三郎、大須伸等の諸博士の如くまだ停年に達しない現役時代の學者も多いが、博士はそれ等の誰よりも若さに於て斷然ひけをとらぬ。一體博士の若返りはどこから來てゐるのか？それはごく簡單だ氣を爽快にする日常生活が若返りの泉なのだ。博士は湯が大好きで風呂は朝晩二回浴び、髮は三日置きにきちんと刈る。六十の坂を越した今日でも年中冷水摩擦を缺かしたことはない。

博士は生粹の江戶ッ子で、近世南畫の名手瀧和亭の長男として生れ、幼年時代は嚴父の手嚴しい薰育の下におかれ、小學校へは就學せずに一足飛びに中學に入學した生れながらにして美術とは切つても切れぬ因緣につながれ、大學では美學を專攻して、美術史の權威となり、繪畫の鑑定にかけては當代隨一の聲がある。美術雜誌『國華』を主宰して卅年、今なほ之を繼續し乍ら美術史研究の爲めに盡してゐる功績には沒すべからざるものがある。

最近では文部省の國寶保存會委員、更に帝國學士院會員として活躍してゐるが、特に國寶保存會委員中に同博士門下の逸材、京大總長濱田耕作、東大教授藤懸靜也、特許局技師奥田誠一、京城大教授田中豐藏等の諸學者がずらりと顏を並べ、師弟ともがつちりと腕を組んで、國寶保存のため渾身の努力を捧げてゐる。今更ながら美術界に於ける博士の努力の偉大さに驚かされる。

白鳥の自敍傳
春夫の數覗み

中央公論三月號の白鳥の『文壇的自敍傳』は面白い。これは連載ものであるが、單に白鳥一人の文壇的系圖表でなく、白鳥が世の中へ出て行く途中で見聞した人々のスケッチが多數網羅されてゐるのが興味である

前回では田山花袋その他の人々が出て來たが、今回は浪漫主義の理想を明治時代に唱導した岡倉天心の風貌が中々よく出てゐる。寺崎廣業を『繪描きでなく紙屑拾ひ』だと面罵してゐる天心、王敍會に於ける鋼鐵ぶり帶目に見えるやうだし、白鳥一流の批判のメスで天心とはどんな人間かと睨んでゐて面白い。この自敍傳により明治、大正、昭和の文人要人が登場して來て、白鳥に睨らされることであらう

日本評論三月號に佐藤春夫は、『日本文學の中心』と云ふエッセイを發表してゐるが日本文學の中心を短歌にあるとしてゐるのは妥當であり、藤村作、久松潛一などの見るところと同樣である。短歌を中心とした日本文學の表現、精神も相當つかまへられてゐるが、短歌ばかり重く見て、日本文學の散文的方面に視線を向けてゐないのは惜しい。源氏も西鶴も出て來ないのでは、日本文學の根幹を擴げて見せた文章とは一寸うけとりにくい

豆談義
春香傳餘談

『春香傳』の原作は讀物だけでも數十種の流本があり日本內地の義太夫に似てゐる唱劇としても幾通りかあつてこれが『春香傳』の原本だと指摘出來るやうな定本がなく一種の口碑文學として發展してきたのである

卽ち『春香傳』は初めは歌唱として歌はれ、それが漸次前後の脈絡をつけて、唱劇として上演し、それを更に讀物化したとみるのが穩當な解釋だと思ふが、朝鮮の田舍に行くと厚い朝鮮紙に毛筆で書き綴つたのを誰か一人、大勢に朗讀してやつて、みんな愉しんでゐるのを見受ける、かういふ風に無名有名の文人の手で次々と增補修正されつゝ大衆の血にまで沁みこんでいつたのである

『春香傳』ほど民族全體の支持を受けて民族と共に存する讀物は恐らく他の國にはなからうと思へる程だが、然し文字になつたどの流本を讀んでみても表現や構成の點、現代文學の洗練を受けた吾々からみるときは卑俗に流れ粗雜でありふざけてゐるとさへ思はれる箇所が相當に多いのである（日本藝術新聞所載張赫宙の小論より）

統計上から見たスポーツの犧牲
伊太利當局から發表

イタリヤN・O・Cはこのほど一九三七年度に於けるイタリヤスポーツ界の犧牲を發表したが、これによるとスポーツによる死者六十一名、負傷者四千四百二十一名となつてゐる

この中で最も危險なスポーツは狩獵で死者三十一名、負傷者四百八名を出してゐる、その次が山登りで之によつて死んだアルピニストは八名、負傷者百五十名となつてゐる、自轉車競走はこれ亦スリリングな點では前二者に劣らぬものだが死者九名、負傷者五百名を出し、相當に事故の多いことを物語つてゐる、拳鬪、スキー、蹴球、水泳、ラグビー、自動車競走なども夫々死者を出してゐるがレスリング、籠球、陸上競技、ローラースケート、フエンシング、テニス、滑氷などは死者は一名もない

しかし一番事故の多いのは蹴球で千五百件、大體が肉ばなれや骨折である、この統計はファッシスト・イタリヤのスポーツ界の動向を示す一資料でもあり、その隆盛振りが偲ばれる

隨筆 忘られぬ人（九）
源助と孫娘のお常
【日本畫家】松田黎光

私達の樣な仕事をして居る者さへ却々に止むを得ぬ雜用に惜しいと思ひながら費さるゝ時間は多く彼是と忙しい日を過す內には、偶々懷しい憶ひ出の湧く人にも折々の消息さへ怠り勝ちとなり、何日かそのまゝ時の過ぎて行く事も淋しい事の一つである。

其中でも數へて見れば三人五人の忘れられない人は有る。社會的に有名な人、無名な人、何れも自分の半生に種々な意味で交涉のあつた人達であるが、其れ等の人々に較ぶれば、何等深い因緣も持たぬ然も二十年も相見ぬ山口源助と云ふ郷里の老人が不思議にも忘れられない。

生きて居れば今では八十でもあらうか。この源助老人を憶ひ出せば丁度芝居の熊谷陣屋に出て來る彌陀六の樣に頤に大きな黑子が有つて、夫れに長い毛が生えて居たまでのつそりと大きな身體と共に記憶が新しくなつて來る。源助老人は私の郷里の生れではなかつた。何日何處からやつて來たのか知らないが、耳馴れぬその言葉の訛を子供心に私達は不思議に思つた。老人はお常と云ふ孫娘と二人村の入口の寺の側に住んで、春は長崎特有の凧を張つて居た。四角な凧には兩耳に赤と白の染分けの紙の房が附いて居て、中の繪は波に千鳥、山形に一の字、さては月に蝙蝠、丸に二つ引等の圖案が赤墨く日本紙で張りつけられ新しい紙の匂ひが狹い室の中に來る日も來る日も流れて居た。かやうな仕事を持つた老人が子供達に興味のないはずはない。私達は學校が終ると每日の樣に遊びに行つた。

私の家では、殊に伯母は私が源助老人の家に每日の樣に遊びに行くのを餘りよい顏をしなかつたが源助老人の家には凧の他に今一つ世にも不思議な樂しい器物があつた。夫れは覗く幻燈、つまり此頃子供の玩具にある僅かのフイルムを入れて寫す活動寫眞機であるが源助老人がどうしてかやうな物をもつて居るのか、私達は考へる事すらなく、夜になるのを待ち兼ねて老人の家に飛んだ。ランプを消して何か黑い圓形物に紐をつけると、小さな豆電氣がついて壁に張つた白い布に見た事もない外國の風景や、立派な船や、異人服を着た男女が歩いて居るのが次々に寫る。私達は只もう夢中で同じ物を每夜の樣に老人にせがんでは寫して貰つた。

然しこれを寫すのは老人ではなく、私達と同じ年位の孫のお常であつた。お常は默つて何回も何回も寫して見せた。この子は眼の玉が碧くて髮の毛が赤く、子供からは異端視されて友達も出來なかつたかして每夜の樣に遊びに行く私達にも却々口をきかなかつたし、私達も老人の孫には懷つても餘り好きでもなかつた。手足が長いので九つや十にも見えず、赤い居チリメンの前かけを何か似つかない、一口に云へば混血兒であつた。

源助老人は凧の時節が過ぎるとよく日傭に出かけたり、草鞋を造つたりして生活をしておつた。私の家に出入したのもそんな事からであつたらう。

父母のみが早くから朝鮮の任地に行つて九つ位まで、この村の母の實家に居た私は、源助の家から見える遠くの山の直ぐ先が朝鮮の樣に思はれて、凧がすんでもよく遊びに行つた。彼の家は晴れた日は夾竹桃の植はつた狹い庭先から千々岩灘が見え、其向ふに雲仙が浮んで居て、島原へ通ふ黑い小さな蒸氣船も見えた。

私が二十一、二位の時何度目かの歸省をした時、矢張り彼は健在で居たが、彼の孫の混血兒の姿は居なかつた。歸省して二三日目に彼の家を訪ねたら老人は非常に喜んで、昔懷しい話を種々と繰返した後、氣の毒氣に手紙を一本書いて吳れと云つた。

私は此日始めて源助一家の不幸な永い間の出來事を知つた。其後例の『お蝶夫人』の歌劇を見る度に源助老人を思ひ出す樣になつた。老人の其の時の話がお蝶夫人の歌曲そのまゝであつたからである。

源助は平戶の相當な家中に生れたのだ相であるが、若い時に長崎に出て家を持つたが、種々な商賣の失敗から丸山で遊女をして居つた娘が亞米利加の若い船員を客にして、孫のお常を生んだので當時はされたもの、其船は一年に一度しか入港せず、男も遂に訪れぬ樣になり、お常母娘は亞米利加にも迎へられず、源助老人の許で淋しい暮しをして居つたが、娘はお常が五つの時氣が變になつて淵端の海岸へ飛込んだ。源助も混血兒の孫を連れては故郷へも歸られず此處彼處へ一年半年の旅を續けて遂に私達の村へ落ちついたのだ相である。

『お常も去年亡くなつた母親の友達が矢張り亞米利加人と一緒になつて向ふの加奈陀へ行つて居るのが何年振りに日本へ歸つて來て子供もないから是非連れて行きたいと云ふからやりましたよ。廣い亞米利加でも緣があつて生きて居つたら親爺に逢ふかも知れませんからね』

源助老人はこれだけ云ふとツイと横を向いた。其後永い間私も故郷を訪れぬし、老人がどうしたかその消息も知りたいと思ひながら二十年を過ぎた。何日までも忘られぬ人の一人である。

古い映畫の追憶

最近東京の映畫界では、古物ではあるが名作傑作と稱せられる映畫を集めて觀賞することが一つの流行を為してゐる。强ちが古物活用とばかり馬鹿に出來ない、案外追懷を新たにし、もしくは、かつて見ようと思ひながら見逃してゐたもの、もしくは再度見ることに依つて認識を新たにする場合も決して少くない、ドイツの表現映畫『カリガリ博士』などはその適例であらう、これが我國に輸入されたのは大正九年の頃で、當時『わけのわからぬ映畫』として相手にされなかつたものだが、今日に於てこれを見る時また新たな味がある、外國の映畫は種々渡來してゐるが、常識的に類を見せないものでは『絕對映畫』とも稱すべきものがある、これは映畫からストーリーを拔き去り抽象的形態と數學的形態とを交響樂的に扱つたものである、やはりドイツ作品であるがかうしたものは未だ見た人は少いやうである

春の一戰賭けた各社の大物
日活目指し押寄せる

お定りの陽春映畫戰は、各社夫々の大作、力作を揃げて三月シーズン開きと共に逐鹿戰へと突進したが、シーズン劈頭の四月第一週を期して日活がエクランを席捲せんとする豪華版『忠臣藏』を繞つて、早くも松竹、新興、大都、東寶等入り亂れて、この映畫戰一番乘りとばかり乾坤一擲の秘策トーチカ陣を敷いてゐる。名にし負ふ日活の『忠臣藏』は、時代劇の雄、阪東妻三郎、片岡千惠藏、嵐寬壽郎の三巨星初顏合に配して日活現代劇總動員と云ふ未曾有の豪華版であるだけに各社共些か相手手強しで、この抗戰に必勝一番を期す各社のお膳立は、松竹は『母の歌』、新興は『母の魂』、大都は『三家三勇士』東寶は『巨人傳』と夫々の大作を準備してゐるが、この陽春攻防戰は、文字通りの喰ふか喰はれるかの大決戰が見られる譯である

學藝だより

◇山田新一氏　新義州驛前中津旅館に滯在中、十日頃歸城の豫定

◇山崎金三郎氏　八日濟州島へ約一週間の豫定で旅行

◇草の實三月句會　十二日午後七時より京城北米倉町銀行集會所

◇故高橋晋武追悼歌會　十一日夜鍾路『大觀園』

◇草の實吟行句會　十三日午後一時京城神社集合、午後三時朝鮮神宮參集所にて披講

今週の番組

黄金座（九日より）▲『お猫ちやん』▲『悔悟』樂映▲日活京都作品片岡千惠藏、市川百々之助、村田知榮子主演『築業道中』

中央館（十一日より）▲大都作品杉山昌三九、水川八重子主演『捧れ道場』▲大都作品山縣直、佐久間妙子主演『青春爽あり』▲RKO作品『名馬物語』

喜樂館（十二日より）▲日活京都作品澤村國太郎、大倉千代子主演『八丁鼠太郎』▲パラマウント作品ビング・クロスビイ、シヤーリー・ロス主演『ワイキキの結婚』▲日活多摩川作品瀧口新太郎、橘公子主演『制服を脫た勇者』

浪花館（十二日より）▲新興京都作品山田五十鈴主演『番御前』▲新興大泉作品大井正夫、渡邊はま子主演『小國民』▲ワーナー作品パット・オブライエン主演『新南海登錄』

『露營の歌』
輸出は本極り

既報の如く新興東京[illegible]監督の大作『露營の歌』が今度獨逸版として輸出され盟邦獨逸の各地で上映され、獨逸の若い女性の胸に贈られることゝなつた。この話の起つたのは同映畫完成直後で獨逸文化協會から優秀邦畫の紹介方を依囑されて來朝中であつたゲルハルト・ショルツ氏が、試寫を見た結果、同映畫が描く日本の若い女の大和魂に感激、直ちに城戶副社長に交涉懇談したもので、城戶副社長もショルツ氏の希望に感激贊意を表し快諾を與へ、正式調印を濟ました。同映畫は獨逸文化協會の手によつて獨逸版に監修されるが、ショルツ氏はこの傑作を祖國に紹介しうる歡びを左の如く語つた。

『露營の歌』に盛られた日本の正しく強い國民精神と美しい人情道德はハーゲンクロイツの旗の下に國民精神總動員の實を擧げつゝある現在の獨逸の國情に完全に一致します然も此映畫の持つ高い藝術性は獨逸文化へ一つの示唆をもたらす事を確信します大和魂と獨逸魂を結びつける上に大きな使命を果すでせう』

不連續線
人生覗き

一昨年の暮だつたと思ふ。四國方面に放浪の旅をつゞけてゐた吉井勇君が上京して、樂しみにしてゐた東京の酒に親しむ間もなく、ひどく胃腸を害して入院し、醫者から絕對禁酒を宣言され、止むなく喫茶店通ひを始めたが、

『カフエーへ行けば、幾らでも酒が飲めるが、紅茶やコーヒーといふやつは、二杯、三杯とお代りが出來ないから、喫茶店で時間を消すといふことは出來ないね』

と述懷したことがある。

私もそれに贊成して、所謂、喫茶店などといふところでは、センシユアルな境地を求められないといふやうな氣がしたが、今は行くところへ行くと若い學生や少女ばかりが行つてゐるところへ、今更、こんな年をして行くのは氣が引けるが、それでも、ある時代にカフエーへ耽溺した頃とは違つた意味の世界を見出すことが出來るからである。

ある日、若い和服の女が一人だけで、隅のテーブルに席を占めてゐたのを見て、何となく不審に思つたところが、何かの曲のレコードを聞くと、そのまゝテーブルに俯伏して、肩を小さく顫みながら泣き出したのを見たことがある。

『喫茶店だとて馬鹿にするな。こゝにも立派に人生がある』

私は、そのことを吉井君に報じて、以來、喫茶店黨になつた。

京城日報

朝刊

商業登記公告

法人登記公告

社説　世界指導に處する日本國民の覺悟

白人は十五世紀末葉以來、世界を股にかけて荒し廻り、掠奪の限りを盡し、手段を選ばず、有色人を酷使虐遇し、自己の欲望の犠牲となし、世界の財貨と領土とを劫掠し、殊に、十九世紀以來の百餘年間に於ては、世界征服を急遽に敢行し、十九世紀末に於て世界陸地の大部分を、其統治下に分割し盡した。二十世紀初頭における白人統治地域は實に全世界面積の九分の八に達した。

×

白人の獲得したのは、政治上の世界覇權だけではない。從來有色人の蓄積した凡ゆる財寶を掠奪し、世界の天然資源を確保し、交通權を支配し、宗教文化の普及權を獲得したのである。

×

歐洲中世紀の末葉に於て、その缺乏を嘆つて居つた金銀も、今日に於ては、世界在高の壓倒的大部分を獲得所有し世界鑛山の大部分を其手に收め生産資源産地の大部分を支配し、世界の航路、鐵道、通信網を確保し、キリスト教の宣教權を獲得せる如きは、その具體的なる實例である。即ち白人は、世界の政治的支配權を掌握したばかりでなく、金融、産業、交通等の經濟的及文化的の支配權を獲得確立したのである。

×

世界地圖を見るものは、その色の大部分がイギリスでありロシアであることを認めると共に、なほ心を細かにして、白人の勢力圏を點檢するものは、如上の事實が我等の眼前にまざまざと存在することを認めるであらう。

×

而して、彼等白人は如何にして、これらの領土と權益とを獲得したかを考へる時、彼等の強烈無類を債識せずにはゐられないのである。彼等白人は世界到るところに於て、有色人を掠奪し、凌辱し、虐殺し、時に民族絶滅、民族絶滅の悲劇をすら繰返したのである。

×

それにも拘らず、彼等は今日に於て文化人を以て誇り、我利々々根性から出發して、日本の行動に左右を云はんとするのである。しかしてその反勢力の中心が地圖の色の最も面積の廣い部分であることは注意に値する。

×

彼等はどの口を以て「日本の領土的野心」などと云ふ語を使用し得るか。又、「暴力」とか「非行」とかいふことを言ひ得るか。彼等の最近四百年の歴史こそ領土的野心の現はれであり、非行暴行の記録である。

我日本の進むべき道、執るべき手段は彼等の如き野心ではなく、また非行暴行ではない。あくまでも皇道を宇内に宣布して、平和と光明とを此の世界に招來するのである。皇國臣民たるものは、常々この崇高なる氣魄を以て朝暮せねばならぬ。特にこの氣概を我等の子女の上に徹底しておく必要がある。

耕作權が中心で規模は狹小化す！　農地令下の爭議傾向

各道小作官會議は三日より五日まで本府に開催されたが昨年十月が農地令實施及最初の小作地賃借權の最短法定期間滿了期に相當するので、特に農地令實施による小作事態の推移に付き種々協議を遂げたがこれによる小作爭議の傾向は次の通りである

一、小作料の減免に關するものから、漸次直接土地乃至小作權に關する爭議へ移行しつつあり、後者の件數は總件數の六割を占めてゐる

一、團體的爭議は殆んど影無状態となつたが小作人の個々的爭議が漸次增加しつつある

一、從來南鮮地方を主としたものが全鮮的に波及しつつある

一、爭議件數の增加には農地令實施による小作人の增長が幾分作用したことは事實である

一、圓滿解決件數の割合が增加し總件數の八割迄は圓滿解決をみたが之は農地令實施に負ふ所が多く一面惡質爭議の減少を來すものである

一、小作委員會の運用は大體に於て宜しきを得てゐる

而して左の如く農地令實施の結果は大體に於て好結果を收めつつあり、目下實施中の内地農地調整法案に比較すれば農地令はむしろ進歩的内容を有し現在早急に之が改正の必要は認められないが、實施の結果農地令の缺陷があると すれば徹底研究の結果漸次改正することとし、漸增する爭議に對しては農地令其他關係法規の運用によつて適確な處置を講ずることとなつた

北支貿易の振興策を建議　關東州調査會が

【奉天支局發】關東州における輕工業調査會はこの程、北支貿易振興策に關し左の如き建議案を提出、當局の考慮方を要請した

▲大連、北支間に日滿合辦客貨船の就航

▲大連、北支間における運賃の低下を圖るため小型船の就航獎勵

▲大連港における貨物積降し迅速化

▲北支貿易組合機關（輸出調節機關）

▲地理的好條件を最も利用し得る各種の雜貨食料品等の輸入等の積極的援助

▲現行關東州爲替管理制及び輸出入臨時措置制の運用に對北支貿易に關しての緩和

對北支船舶會社　四月早々創立

朝鮮北支貿易振興のため機會を朝鮮郵船を中心として北支直通航路經營の船舶會社新設計畫が進行してゐたが、右に伴ふ命令航路補助豫算も追加豫算として正式に認められたので、資本金五百萬圓をもつて本月末乃至四月早々創立を見る事となつた、創立の要旨は

一、資本金五百萬圓二分の一拂込

一、朝鮮航路、河陵沖間、大阪商船、三井物産が主たる出資をなす

一、北支航路に最適と認められる一千トン級の貨物船を約五隻乃至十隻を運營

一、經營航路は青島、天津及び西鮮各港とする

一、創立委員長には朝鮮郵船社長森辨治郎氏が就任する

等にして新年度より直通航路の經營に當る豫定である

重鑛增産、産金〔令〕　兩法の提案事情　村上理事官歸任談

東上中の本府鑛山課村上理事官は六日歸任左の如く語る

重要鑛物增産法は議會に於ても最も機を得たものとされ、非常な期待がかけられてゐる、然も斯樣な強力な法規を出すのに政府は一體如何なる助成方法を執るか、ただ仕事をしろでは駄目だと云つて委員會で大いに論議された程で、政府でも何等かの助成を講ずる事となり、衆議院の修要が決つた、朝鮮としても内地に追隨する事となり追加豫算を組むこととなつたもので、産金資金法案は一部に於ての補助金を出しては如何、中小金山はこの内容でゐると忌避を受ける事になるのではないかと云ふ議論もあつたが、結局大部分の賛成を得て衆議院を通過したので、兩法案とも無事貴族院を通過するものと思ふ、朝鮮へ對する産金資金は一億七千萬圓か金山投資、六百萬圓が會社の事業資金、千四百萬圓が金山以外の然も産金に要する資社の事業補助に從前自社二二〇金單位であつて居り、改正にもれた生活必需

北支關税の不備　各方面で問題化

新中華民國政府により一時關税が改正せられてから、既に一ヶ月を經過したが、今次の改正は必ずしも北支民衆に對する當面の易の解消と北支民衆に對する當面の生活必需品を廉價に供給することを目的として早急に決定されただけに在支產業と日本產業の關係日本品と外國品との關係等に關して幾多不備の點があり漸次各方面に表面化しつつある一例をあげれば

濠洲粉と の競爭の如きは日本内地の小麥粉が價格問題となつてゐる、これで、外商による濠洲粉輸入を阻止せんが爲には爲替管理の緩和と關税改正により麥粉を有税とし日本粉に特恵關税を課する方法が講ぜられるが、何れも實現困難と見られる、麥粉に次いで問題となつてゐるのは人絹織物である、人絹

人絹織物 は滿洲貿易に於けるものが滿洲貿易開始後再度、十元（百疋四十四元）となり、今次の改正によつて百疋三十一金單位となり從來の輸入稅の約四分の一の低稅率を課せられることとなつたのである、尚が上滿洲稅率に比すれば相當低率であるが從前の輸入稅の約四分の一の

て從價三割であつたのが新政府になつてから從前の八割を減じられることとなり輸入禁止に等しい結果となつた、之に對し日本人絹布主要產地たる福井縣では影響する所甚大なるものありとし、同縣織物同業會長貴族院議員山田純之助氏は過日來北京にて當局に對し工作中である、此の外遊戯の改正に現れた織物類の如きは結局稅率を高められたのと同樣の結果になつて居り、改正にもれた生活必需

税率引下 方を陳情陳々

夕刊後の市況

◇鮮銀對外爲替建値（七日）

對英		一志二片十六分の一五
對米	廿八弗一六分の一五	
對安		一〇三圓半

大阪短期前引節

大新	九三圓七	一安
新東	一六八圓丁	一安
鐘紡	二七七圓八	二安
滿業	八七圓五	不變

◇……福井人絹後場引

當 七三、六〇　先 七六、七〇

◇……橫濱生糸後場引

當 七一、九　先 七二、六

北鮮四港論　東縱貫線の海港（三）

京城帝大教授　鈴木武雄

然るに 昭和十年三月北滿鐵道が讓渡せられて名實共に滿洲國々有鐵道になるや、我が大陸鐵道政策は茲に新たなる段階に到達した

即ち、京圖線を主力とする日本側の新東西流通路は、今や對抗の主たる目標たる北滿鐵道を支配し得たことによつて、若しくその延長は實に重要な意味を有つ線を新めるに至つた。加ふるに、滿洲國の海港ではなくなつた。若し對抗の目標を新たに置めるとすれば、今や烏蘇里鐵道及びその海港としての浦鹽こそ重要がある。

に於て圖佳線の開通での北鮮三港への延長は實に重要な意味を有つて來るのだ。そして圖線の佳木斯口より一烏蘇里江岸の都市であり虎林に至る虎林線は、圖佳線を補強するものであり謂はば『新しき縱貫線』である。そこで、吉會線問題が

内包してゐた國策的意義は、既に滿足せられて、全く新たなる方向に生れかはつたと見るべきではあるまいか。この圖佳線を主力とする東側縱貫線こそ今や新たなる國策的使命を擔つてゐるのであつて京圖線は、南北縱貫たる圖佳線と共に、寧ろこの縱貫線の支線たるべきものと私は思ふのである。

そして、松花江——あの北滿を流れる動脈たる水流も、例へば依蘭を境としてその下流は佳木斯と結び圖佳線に由つて北鮮三港と連るだらうと云ふことも充分に豫想せられる。松花江が經濟的には二つに切斷せられるのである。併し切斷せられるのは松花江のみではない。京賓線のゲージが改修せられ拉濱の連絡が完成した今日では、大連より黑河を結ぶ一線は遙かに中央大縱貫線であり、濱北線がこれによつて二つに切斷せられたのである。即ち濱綏線の大部分が

東側縱貫線の支線化したとすれば濱洲線は中央縱貫線の支線と化し去つたのである。このやうに、新東西流通路が東側或は中央の縱貫線の支線に化したとすれば我が大陸は今後これらの縱貫線を縱軸として、幾つかの經濟地域に縱に分れて行く可能性が濃厚となるのである

そして この見透しが正しいとすれば、第一に考へられるのは哈爾賓の市場的地位の變化である。それは物資の殊たる通過的地點に轉落する可能性が頗る大きく稍々中央縱貫線上の一中心市場たるに過ぎなくなるだらうことが豫想せられる。このことは、佳木斯或は牡丹江の商權の伸張を豫想せしめ、延いて、北鮮三港乃至朝鮮そのものの、商權の東北滿への進出をも豫想せしめる。勿論哈爾賓の傳統的な商權的基礎はまだまだ強い。併し既に見て來たやうな

大陸流通路の根本的變革は、さういふ方向を暗示してゐるのである

第二に考へられるのは、最近開通した東山線をば東山線の鈔歩頭白より京圖線の吉林に延長すると、この線は東側縱貫線の重要な支線となり、その海港架拱によつて、所謂『日本海湖水化』は益々その意義を深める。

北鮮の 四港は、かく私の所謂大陸東側縱貫線の海港として充分に認識せられなければならないのである。それは、單に朝鮮の地方問題として取扱はるべきではなく、鮮滿を打つて一丸とした我が大陸經營の觀點から見直されねばならないのである。『鮮滿一如』と云ふ言葉が、北鮮に於ける縱貫線を以て響くところは先づ他に當らないであらう。

京城水産市場の前月取引高

京城府營水産市場の二月中取引狀況は入荷貫數十萬九千四百三十貫、賣上高十六萬四千八十四圓で、十貫當平均値十四圓九十九錢を示してゐる、前年同期に比し入荷に於て一萬八貫、賣上において二萬三千七百一圓二十九錢と孰れも增加を見せてゐるが主要鮮魚の賣上げ カジキ二萬一千百五十圓、ヒラメ一萬一千八百二十圓、カレイ九千百六十圓、タヒ八千六百十圓、イカ七千六百二十一圓の順となつてゐる

二月對内貿易　少額の出超

朝鮮に於ける二月中の對内地貿易は、移出五千四十四萬九千圓、移入五千二十六萬一千圓、計一億七十一萬圓即ち出超十八萬八千圓となつたが、之は移出に於て米が前年同期より七百十二萬圓增となり移入に於て綿花の綿出移入が同三百二十九萬圓減、機械類の百七十七萬圓減等が主原因となつたものである（單位千圓）

二月	本年	增減(△)
移出	五〇、四四九	六、七〇二
移入	五〇、二六一	八六五
計	一〇〇、七一〇	一、四一二
出入超	出超 一八八	
一月以降累計		
移出	一三三、一六四	七、〇〇七
移入	一〇四、六七七	二、八六六
計	二三八、〇四一	九、八七三
出入超	出超二八、四八七	

金鐵石特別輸送　興南附近で實施

鑛産增產計畫に基く金鐵石增産に伴ひ右計畫に一役買つて出た鐵道局では金鐵石の特別輸送を實施すべく諸般の調査並びに準備を進めてゐたが、漸く成案を得たので來る十五日より向ふ一ヶ年間差當り長津興南方面の鮮小鐵山より北岡出荷による三千趣の下關、古土陽發、興南經由港、普通貨物の四割五分減を實施することとなつた

家庭

ヒステリーとは何ぞや？

海外・小話

ベルリンで發行されて居る大衆雜誌「コラーレ」誌が最近讀者に對して「ヒステリーとは何ぞや」との質問を出した所男女各様の回答が殺到したがその中での傑作を御紹介すると次の通り

一、ヒステリーとは僕の妻にやつて貰ひ度くないものの全部だ
一、ヒステリーとは欲すると云ふことだけ知つて何を欲するかを知らぬ人間の病氣である
一、ヒステリーとは家庭生活の喜びを持たぬ女が職業の中にそれに代るものを發見しようとする時起るもの
一、ヒステリーとは夫を持たぬ女の罹るもの

直接日常生活に響く 事變特別稅の知識【下】
增稅報國の心構へを

新　設の支那事變特別稅は「一寸一服の煙草」と云つたことになり砂糖酒類の增稅は勿論のこと、頭の先から足の先まで盤につくもの何物たりとも稅金がかゝり、映畫を見ても、麻雀莊や撞球場に飛込んでも入場稅、一寸でも醉いた最後足代を取られる、こんなになつて來ると一寸物品は買へなくなるが御安心下さい、日常生活必需品でも安いものには稅金は絕對にかけず、贅澤品で高級品になると、お買上品の何割かを稅金として徵收されることになる

は簡單にはなるまいが月にして見ると相當に臺所に響いて來ることになる、ポツ〳〵ビールの時期になるがビールも現在十九圓の稅金が四圓值上で廿三圓、燒酎は十五圓に一圓七十錢、再製酒は三十三圓に六圓を值上げされるが朝鮮は內地と違つて民度や財政狀態が特殊事情にあるので濁酒、果實酒、朝鮮酒である藥酒、濁酒は値上げをしないことになつてゐる

そ　れではどんな物品にどの位の稅金を拂はされるのか、卽ち物品稅であるが物品稅は第一、第二、第三種に區分されてゐる、第一第二種は現在でも北支事變特別稅としてかけられてあるものを更に範圍を擴張し、現行の百分の二十を百分の十乃至十五に引下げ更に第三種を設けた、この三種といふのは煙草に酒類である、將來日本人位、煙草を粗末にする者はない、町でも散歩してゐると廣告

次　に課稅される物品を見ると法令の上で第一種甲類は
一、貴石若は貴石又は之を用ひたる製品
二、眞珠を用ひたる製品
三、貴金屬製品又は金若は白金を用ひたる製品
四、鼈甲製品
五、珊瑚製品
以上五項目だから一寸日常生活には必要なものでなく內地はその稅率も百分の十五、百圓に就いて十五圓の稅金を徵收されることになつて乙類は

時計、萬年筆、金ペン及シヤープペンシル、身邊用細貨類、化粧用具、喫煙用具、帽子、杖、鞭、パラソル、皮革製又は金屬製の鞄及びトランク、琉及履物寫眞器及寫真、室內の裝飾用品、照明器具、園藝及、將棋具、家具、漆器、陶磁器及硝子製器具

貴金屬を鍍金し又は張つた製品毛皮又は毛皮製品、羽毛製品又は羽毛を用ひたもの、メリヤスレース、フエルトなどで內地は百分の十卽ち百圓に就いて十圓の稅金を收めなければならぬが、この種目のうちには

〻サラリーマンには必需品もあるのでこれには免稅點を設けることになつてゐるが朝鮮に特別にあり免稅點を引上げることにしてゐるが內地では實施されることになつてゐる、免稅點を次に記して見ると—（　）內は免稅點でこの金額以下は免稅
時計（十五圓）萬年筆（一圓）シヤープペンシル（一圓）細貨類（三圓）化粧用具（三圓）喫煙用具（三圓から五圓）帽子（五圓）ステッキ（三圓）鞭（三圓）パラソル（五圓）皮革製又は金屬製のトランク、鞄（十圓）靴（十圓）室內裝飾品（十圓）照明器具（五圓）碁石（三圓）將棋駒（一圓）家具（五圓）貴金屬をメッキ又は張つた製品（三圓）毛皮製品（五圓）羽毛

第一種乙類として

以上

中學生のメモ
寫生する時に
ぜひ應用して下さい

☆……風景または雜然と置かれた混み入つた靜物——からしたものを寫生する時に用ひる重寶で而も面白い方法をお知らせしませう
☆……畫用紙の細いレースの布でもよし、また蚊帳布でもよし、或は寒冷紗でもよし、要するに向ふが透き通つて見える布、これのハガキ位の大きさのものを用意します
☆……この布を木の枠でも、竹の枠でも、或は厚紙、針金以でも精々ピーンと張つて備へつけます
☆……さて、寫生に取りかゝる時この布を張つた枠を手に持つて目的物を見ますと、細いゴタ〳〵した部分はボーッとして、目的物、及附近の要點だけが目につきます
☆……つまり、これでのぞいておいて寫生すれば、ゴタ〳〵した無用の部分を捨て去つて、はつきりと主眼點を摑むことが出來ます

お髮のおぐし四題

自身の毛で造花（その三）

色したもので、造花趣味から一致の奇抜さを求めたものです

電話應接十條
思はぬ失敗をまねく 是丈は心得て下さい

すお待ち下さい」と引込む、相手に用件を聞いて來た人が又「一寸お待ち下さい」と引込む……電話は急用が多い……メモに記入しておく

入院隨意

紙上病院

おりものがある

瀨戶病院長

入學試驗の問題

京城師範學校【4】

算術科

講評

出題方針
現在使用されてゐる第六學年用算術書に準據して出題したのは勿論であるが、平素の學習力と素質性能とを活動せしめることを主眼として次の諸點に注意した
（1）問題の內容が一方に偏しない樣にした　各個人の傾向によつて偏つた問題を解答とすることが多いから偏つた問題では十分に受験者の力を見ることが出來ないからである
（2）問題の數を多くすると共に問題程度の範圍を廣くした　少數の問題を以て考査すると偶然の事情によつて、よく出來たり出來なかつたりするからである、又問題の困難度が一方に偏すると考査は精確に出來ないから
（3）時間の制限が考査の結果に影響する樣にした　一定時間内に手際よく成し遂げ得るものと、十分に時間を以て成し遂げ得るものとでは、力の上に於て非常な差異があるからである

答案に對する感想
本年度の算術科答案の成績は概ね良好であつた。即ち本校志願者約六百五十名中凡そ六分の一は實に立派な成績を擧げて居る。之は受驗者各自が平素先生の御教訓を克く守り熱心に勉強された結果であると思ふ。併しながら中には注意を要する點がないではないので特にその重なるものを次に述べよう
（1）第一回目の計算問題は割合に不成績で、時間の不足よりも誤算によるものが殆ど全部であつた。勿論考査を受けるといふあて、た爲めに間違つた人もあるかも知れないが、平素の練習を怠らない樣注意が肝要である
計算力は本學科學習上最も大切なものである。計算は迅速と正確を貴ぶことは勿論であるから常に進んで之が練習熟達を圖られ度いものである。運算には加へ算、引き算、掛け算、割り算の四つしかないから、簡單にぞ
（2）教科書にある問題を主眼と……

觀戰記
上手切れ筋か
下手逆襲の機を摑む

一流争覇戦譜　第八局
六段　寺田梅吉
五段　梶一郎
六段　飯塚勘一郎

愛織時代
◎愛する家庭婦人の常識として

時代の寵兒『愛織』とは愛國纖維、卽ちステープルファイバーの事である事は申す迄もありません。羊毛にも木綿にも、強制的に愛織を混用せらるゝと共に、大いに愛織被服の使用を獎勵される事になりました。此の時に當り、左の點に付御注意を喚起致し度いと存じます。

家庭生活の變革
非常時局が我々國民の日常家庭生活の上に齎らした最も大きな變革は何か、——その一つは被服に就いてであります。羊毛、木綿の單獨の織物の製造が制限せられ、すべて二割、三割は愛國纖維を混用される事になつたのです。また制服そのほか差支へないものはドン〳〵愛織だけの織物で代用されて行きます。

變革對應の心掛
此の變革に對應する我々家庭人、殊に婦人の心掛としては、愛織の性質をよく認識して、之を「上手に被る」こと「永く保たせる」ことが肝心です愛織、決して蔑視すべからず、今日の愛織は我々日用被服の材料として何等缺點なき立派なものにまで進歩して居るのです。まして夫れが絹、羊毛、木綿等と或は混紡され或は交織されて提供されるに於ておやです

愛織取扱の要點
たゞ呉々も注意を要するのは、此の被服の變革に附隨して、當然ぜひとも同時に變革せられなければならぬ只一つの事柄があると云ふ事です。——それは、申す迄もなく、お洗濯の方法であります。
從來のゴシ〳〵と石鹸をつけて揉む揩るの方法では、いけないことにな

って來たのです。ザラ板、洗濯板はやめて下さい。

新洗濯法とは？
愛織混用の被服變革時代に採用されるべき合理的な新洗濯法としては、これだけは心得て置いて下さい
1、石鹸は如何に上質でも水に溶かすとアルカリ性を呈するので、石鹸の使用は成べく避けること（愛織はアルカリに對しては染色が極めて弱い性質を有する）
2、ゴシ〳〵揉む揩る事はやめ輕い押しつけ洗ひにすること
3、熱湯は使用しないこと
4、湯や水に長時間入れて置く事を避け成るべく早く洗ひ上げる事
5、中性の新洗濯劑（高級アルコール硫酸化製品）モノゲンの溶液に約十分間汚れ物を漬けて置き輕く押しつけ洗ひをすればよい

何卒御研究下さい
モノゲンは製法も組成も石鹸とは異つて R.CH₂ OSO₃ M. でありますから（石鹸は R.COOM. です）中性（アルカリ性でも酸性でもない）であり、愛織は傷めず、羊毛は縮めず、揉ます揩らずに手輕に手早くお洗濯が出來ます。只の水に浸けた丈で落ちるやうな染色でない限り、色落の心配も決してありません。硬水、海水、温泉のお湯でも泡が出來す立派にお洗濯が出來ます。洋髮の洗髮用としても理想的です。

モノゲンは藥局、藥店、デパート等で賣つて居ります

定價　一三五　・五〇　一・二〇

ゲンブマルセール石鹸本舗　第一工業製藥株式會社

補血 强壯 葡萄酒

赤玉ポートワイン

2本で當る カラクジなし 賣出し

● 期間
昭和十三年三月一日より
昭和十三年四月卅日まで

● 方法
赤玉ポートワインの包紙のレッテル二枚と口金掩(錫製のもの左圖參照)の上部二個とを一纏めとし各レッテルの裏に御住所姓名を御明記のうへ 大阪市東區住吉町・壽屋サービス係へお送り下さい 抽籤券とナショナルマッチライトとを洩れなく送呈致します

赤玉ポートワインの口金掩
口金を掩へる此錫製のもの(上部)二個とレッテル二枚とで一口です
これではありません

● 御注意 應募御郵送は封書にて二十グラム(約五匁三分)毎に四錢切手を御貼附の事・一人にて何口も御應募の節は各レッテル毎に一々御住所姓名御明記の事

● 賣出總數 五十萬口 ● 抽籤方法 一口(レッテル二枚と口金掩の上部二個)毎に抽籤券一枚宛發行し 一千口を一組とし 昭和十三年五月十五日 新聞社 警察 代理店の方の立會を乞ひ 嚴正抽籤 當籤番號は各組共通 ● 當籤發表 昭和十三年六月一日頃の本新聞紙上及び當籤者へ直接通知 ● 景品送附 當籤發表後二ヶ月以內に抽籤券と引換に送呈

● 御應募宛先
大阪市東區住吉町
壽屋サービス係

● 一等 (五百口)
防毒服裝 (陸軍科學研究所認定品)
隔離式防毒面・防毒服、手袋、靴……一揃宛
又は左の內お好みの一品
ナショナル國民受信機(Z3・四球)……一臺宛
正絹白羽二重……一疋宛

● 二等 (二千口)
セロファン防毒蚊帳 四疊半吊 上敷付……一張宛
又は左の內お好みの一品
折疊式籐椅子……一脚宛
籐座布團五帖組……一組宛

● 三等 (二千五百口)
直結式防毒面 (陸軍科學研究所認定品)……一個宛
又は左の內お好みの一品
電氣スタンド(防空兼用)……一個宛
蠅帳……一個宛

● 四等 (五千口)
防空用暗幕 (一間吊)……一枚宛
又は左の內お好みの一品
模型飛行機……一個宛
電氣アイロン(三封度)……一個宛

● 五等 (一万五千口)
布製電燈覆……一枚宛
又は左の內お好みの一品
標準國旗……一枚宛
シガレットケース……一個宛

● 應募者全部に洩れなく
ナショナルマッチライト 一個宛 贈呈
(從來のベビーライトより點燈時間遙かに長し)

一等 防毒服裝一揃 (隔離式防毒面・防毒服、手袋、靴)

二等 セロファン防毒蚊帳(上敷付)

三等 直結式防毒面

四等 防空用暗幕

五等 布製電燈覆

總當り景品 (ナショナルマッチライト)

見果てぬ青春（52）

川口松太郎作　志村立美繪

〔禁無斷上演映畫化〕

危機（六）

臘梅を乘せた自動車が、向島へむけて走り去つてしまふと、まだ門の内へも引返さない間に

『女將さんにお目にかゝりたいと云ふお客樣がございます』

と、女中が、玄關口から聲をかけてゐる。

『誰方だい』

『お名前をおつしやいません、逢へば判るとおつしやつていらつしやるんです』

『お前たちの知らない人かい』

『えゝ』

不思議に思ひながら、そのまゝ中の間の八疊へ入つて行くと、四十二の若紳士が、藝者もゐない座敷の眞中に、ぽつねんと一人で坐つてゐる。

『いらつしやいまし』

何處かで見た事のあるやうな氣はするが、はつきり思ひ出せない顔立だつた。

『お一人で放つて置いてすみません、ちよつとどうぞ。一時になつてしまひまして』

『いや、構ひません。女將さんに、お話をすれば用がすむんだから……』

『どんな御用事なんでせうか』

『ちよつと面倒な話なんで……』

敷島を袋からぬいて、ゆつくりと火を點けながら、

『女將さんは、僕に見おぼえがありますか』

『あります』

女將は即座に答へた、が

『たしかに見おぼえがございますけれど、お名前も何も忘れてゐます』

『それやア忘れるのが當り前で、もう彼是れ十六七年になるんだから』

『そんなに昔に……』

『まだ僕が學生時代に、五六回來たことがあるんだ』

『學生時代？』

學生と聞くと女將は、改めて相手の顏を見直した。色の淺黑い、目の大きな立派な顔立で黑つぽい背廣に、黑地へ水玉模樣のネクタイを結んでゐる、堅氣な會社員とも見える顔で、十六七年の昔に學生時代と云へば、櫻井の坊ちやんたちと同じ頃の人に違ひない。

その時分には遙見と一緒に、十二三人の學生がよく出入りをしたから、もしかすると、その内の一人かも知れぬ。さう思つて何も相手の顔をみつめ、

『年を老ると物おぼえが惡くなりまして……』

『ナーニ、ちつとも年を取つてゐないぢやないか。その頃とあんまり違つてゐるやうなしないよ』

『嘘ばつかり。そんなお世辭には乘りません』

『いや、全く。若いんで驚いたくらゐなんだから』

『あの、間違つたら相すみませんけれど、もしや、櫻井さんたちと一緒にお出でになつた方ぢやありませんか』

『さうです』

男は愛嬌のある笑顔でうなづいて、

『櫻井と一緒に來た連中の一人で、その頃は眞島と云つたんです』

『眞島さん？』

顔を見つめながら女將は首をひねつた。眞島といふ名前は何かしら記憶に殘る事件があつたやうな心持がする、十六年も昔のことで、それもはつきりとは思ひ出せないのだが……

京日特選棋譜（8）

八段　高部道平
二子番　三段　並木鏡一郎

白八十七より黑百二迄

自分で墓穴　覆面道人

遺憾　八十八

昨日の白八十七に本日の黑八十八、上は九十四の眞上、下は（い）といふも上樣徹に渡河。[illegible]九十九、西なら、白は九十九で、[illegible]數子を徹質に[illegible]

た。そして本日は白八十九と替つた黑八十八と始まるが、黑八十八には不徹底である。

敵から手傳ひ

黑八十八に不徹底とは、即ち白[illegible]の墓穴、但し十分の二位……を掘り下げたものだが、或は後に、黑からも此の墓穴完成は手傳はれるつまり斯様な完成と云ふ次第。然らば黑八十八は何處がいゝかと云ふ質問が起る。

萬目異議なし

先づ黑八十八は九十八の所に、其下の黑二子を合流が好い。それなれば、九十三の眞下に付ける手段も黑に殘り、諸君も異議なしと云ふ所だらう。で、黑八十八を九十八に、假令ば白が九十二なら、次に黑（ろ）、と左上隅に轉ずる手で、黑に苦勞の無い戰法。と云つたところで、微細な形勢である

遺憾　九十

されば黑九十も九十八が好い。即ち黑九十で九十八だと、九十三の眞下に手段が殘つて、白に不氣味だ。それを以下白九十三と白地を確定的にした。また近いて以下黑百二と殴つて、明日、黑百二の方の黑地も何程か減額、等々と云ふ黑が惡果。それのみならず、（い）と白に渡りが殘つて、白百一の方の活躍は十分に發揮されよう。黑九十にも不徹底々と云ふわ[illegible]

JODK

八日（火）第一放送

午前六時五五分　ニュース
同七時一分（東）基礎英語講座
同七時三〇分（東）朝の修養
同七時五一分（東）ラヂオ體操
同八時一〇分　今日の天氣見込
同九時二〇分（城）氣象通報
同九時五五分（東）衛生メモ
同一〇時三〇分（東）家庭講座　師の恩について　麻生正藏
同一一時（大）幼兒の時間　お話　ドンドンパチパチ　泉田行夫
正午（東）時報　日用品値段　鮮魚値段
午後零時五分（東）新日本音樂
一、月と芭蕉　唄　稀本和美　三味線　米川敏子　ピアノ　粕谷乃理子
二、箏・フルート三重奏（一）アレグレット（二）レント（三）サアルス　箏　米川敏子　フルート　行方伸　ピアノ　平岡次郎
同零時三〇分　ニュース
同一時一五分　家庭の時間（朝鮮語・釜山）染色の話（二）　朴忠彬
同二時（大）小學生の時間『尋五』お話と劇『スチーブンソン』　大阪科學劇協會
同二時三〇分（城）家庭講座　早春の衛生　京城帝國大學教授　醫學博士　水島治夫
同四時　ニュース（氣象通報・釜山・清津）理築紹介
同四時三〇分　防護訓練實況（平壤）南山町平壤府廳前より中繼
同六時（東）獨唱と合唱　獨唱　古筆愛子　合唱　JOAK唱歌隊　ピアノ伴奏　上田ひろ　指揮　吉原規
一、春の合唱　二、アルレリア（獨唱）　三、フィンランドの森　四、戰士の母への訣別　五、王の行進　六、さらばナポリ　七、何處にゆくとも　八、春の野
同六時二〇分（東）コドモの新聞　村岡花子
同六時二五分（城）講演（京城・釜山）北支出征中に於ける感激　陸軍步兵少佐　森山松次郎
同六時二五分　講演（平壤）平壤防衛司令部より中繼　護れ大空我等が郷土　陸軍砲兵中佐　松井球次
同六時二五分　講演（朝鮮語・清津）長期戰と吾人の覺悟　陸軍步兵少佐　安乘範
同七時三〇分（大）國民歌謠　獨唱　新賓愛子　伴奏　大阪ラヂオオーケストラ
一、乙女の祭　二、母の歌
同七時四〇分（東）講演　獨伊の印象　中野正剛
同八時（城）俗曲（京城・清津）唄　勝路　三味線　欣也
一、佐渡おけさ　二、滿洲ぶし　三、白頭節
同八時　朗讀（釜山）〃小さきものへ〃　有島武郎・作　吉婆京子
午後八時　傳說物語（平壤）　松岡詩朗
一、龍王の頌　二、滿流畔に殘る英雄の魂
同八時一五分（城）詩吟（京城・清津）　松井清水
一、九連城　二、合縛入　三、正氣歌
同八時二五分（城）室內樂　越西トリオ
ピアノ三重奏曲　變ロ長調　モーツアルト作曲
第一樂章　アレグロ　第二樂章　アンダンテ　第三樂章　アレグレット
同八時五五分（東）オペレッタ　〃ますらたけを〃　大木惇夫・作
—配役—
火野三郎　清水英夫　プロコピオ・ダリオ・谷本　植村進一郎　コルデーラ、藤枝　古川登美　ふさ子、ローザ　夏目初子　火野の母親、街の女　田中筆子　火野の父親　三宅豊　歌手　由利あけみ　歌手　關口典之　合唱　東京合唱クラブ　指揮　飯田信夫　音樂　東京放送管絃樂團　演出　JOAK文藝部
同九時三〇分（東）時報・ニュース・ニュース解說・氣象通報・翌日の番組
同一〇時五分（城）ロシア語ニュース
同一〇時一〇分（城）地方へのニュース・銃後美談
同一〇時四五分（東）支那語ニュース
同一〇五五分（東）英語ニュース

第二放送

午後零時五分　チエロ獨奏
同一時一五分　家庭の時間　朴忠彬
同六時　唱歌劇　成鏡北道[illegible]
同六時三〇分　復習の時間　成鏡北道
同七時四〇分　趣味講演（二）　金道泰
同八時一〇分　新作說話　卜惠淑
同八時四〇分　俗曲　金準泉
同九時五分　女聲合唱　鶴聲グリークラブ

あすのきゝもの　九日（水）

午後零時五分（宮城）俚謠（宮崎）（鹿兒島）
同一時一〇分　入學試驗合格者發表（清津）—羅南女高普—
同二時（各局）小學生の時間『尋六』話方發表會『六年間の思出』（靜岡）（高知）（福岡）（札幌）（岡山）（仙臺）
同二時三〇分（城）家庭講座　北支戰線將兵の生活　池田徹
同八時（東）ヴァイオリン獨奏　高安哲次　ピアノ伴奏　田部三郎
同八時二〇分（東）尺八　倉川滿山
同八時三〇分（京）鳥軍慰問報告演藝—花月劇場より中繼—　出演　ワラワン隊

オペレット【後八・五五】ますらたけを

古川登美外

如き空想家で冒險家で熱血兒である一日本人は若くしてアルゼンチンに巨萬の富と雄大の地盤を擬得し、今やその成功に醉はうとしてゐる矢先に、祖國の事變を知り時局のいよいよ重大となるに連れて躍然蹶起するところあり、後事を支那人に託するや、決心と深謀と熱情の示唆するまゝに、一路祖國の途についた。

遙々歸朝した彼が祖國へ上陸第一歩、眞先きに行つたのは[illegible]あつた。そして數萬の獻金と血書の出征志願書をこもごも差出し熱誠無比の面持だつた。學生時代の夏季旅行が途方もなく飛躍を誘つて海外雄飛の野望となり突然親元へ一切消息を絶ちアフリカ大陸を放浪してダイヤモンドの採掘、神命の鑛脈を追ひつゞけたのも、して幸運を掘り當てたが昔日の如き空想と冒險以外の何事も忘れた彼の胸の中に、いたづらに歳月は流れて去つた。然し今や祖國は重大時局に直面してゐる。彼は敢然立つて出征を志願したのであつた。彼は喜び勇んで祖先の故鄕へ歸つて行く。古ぼけた如何にも農家らしい我が家、恰も三月三日、桃の節句た部屋に雛等のおぼろな光をうけて家代々傳はつて來たお雛樣がいとも床しく靜かに飾られてゐた。それを見ると彼は久し振りで日本の血に觸れる思ひがして祖國愛の血は更に湧くのであつた。年老いし父母、許婚の愛人、幼な友達、村の人々に取りまかれ親類の群を浴び、歡呼の聲に送られて彼は勇爽と出征の途につく。

今は、大亞細亞の黎明を呼ぶ熱情と夢のみが彼の胸に燃え盛つてゐた。

獨唱　合唱

【後6時】　獨唱　古筆愛子　合唱　JOAK唱歌隊　指揮　吉原規

一、春の合唱　スメタナ作曲　訪川主一作詞並編曲

みどりの若草さえづる百鳥、あめつちのどかに春をば祝へり、丘よりはるかに呼ぶ聲聞かずや『いざ來よものみな、うれしき春來ぬ足どり樂しく行かばや野山に

遠ざかり行くは、きのふの冬われらは若き、初春の子、川邊に行青草に、春日はうらうら、みそらの遠方、逃げ行く冬を、われらはおくらん、聲もたからかに、うたへや春を先命と光明の、うれし、春をうたへやうたへ』

二、アレルヤ　モーツアルト作曲

アレルヤ、アレルヤ、アレルヤ

三、フィンランドの森　フィンランド民謠　門馬直衛作詞

森深く暗い路に、隠れ立てる我が小屋、路に陽影きらめきて、路は草邊をぬらす、ホイ、ラリラリラ、森に響く山彥

樂しげに歌ふ小鳥、高き梢に飛び交ひ、躍らたる牧者の歌、遠く彼方に響く、ホイ、ラリラリラ、森に響く山彥

四、戰士の母への訣別　クロアティア民謠　門馬直衛作詞

遠い國に敵を追ひ、われはいま別れゆく、母上のやさしい御顔、戀しの顔よ、胸はさけて涙湧きて、しのばるゝすぎにし日

五、王の行進　フランス民謠　吉原規編曲　門馬直衛作詞

朝日受けて進む、王の行列美はし朝日受けて進む、王の行列美事、先掲れ、供人、武者の、旦引きつれて、先掲れ、供人、服は黄金に映ゆる

六、さらばナポリ　イタリア民謠　門馬直衛作詞

流れの時よいざさらば、ナポリ好いとこ今別れる、思ひは殘るなつかし港、さらばさらば、此の世の樂園ナポリよ、いざ！

七、何處にゆくとも　ネザーランド民謠　門馬直衛作詞

何處にゆくとも止るとも、何處迄るも旅するも、浪の上見ゆるオランダの船、海の上統治るわが祖國

誇しわが國スペイン破り、平和保ちて力誇る、比類も見ざるはオランダの國、世界を統治る我が祖國

ニイダランド讚れや神の法を、永久勇ましき我等の國、怖るな皐神の力、世界は競ひて讚するとも

八、春の野　ドイツ民謠　吉原規編曲　水原民雄作詞

麗しく春の野邊に、陽はうらうら、光に照り映ゆ、いざや友よ腕を組みて、うたひゆかなん春の野

家庭講座　早春の衛生

【後2,30】　京城帝國大學教授　水島治夫

早春は氣候が最も急變し易く從つて感冒を引き易い時です、その他此の氣候の變り目に好んで發生する病氣があります、長い間冬の寒さと戰つてきた呼吸器、呼吸器を冒す頃になつて老人の死亡率は高くなります

それ等に對する日常生活上げの注意を話しませう

講演　北支出征中に於ける感激

（後六時二五分）　步兵第七十九聯隊　森山松次郎

私は昨年七月盧溝橋事件勃發するや七月十六日出征致し天津の市街戰及其後の警備を終へて八月下旬靜海方面に前進し續いて京漢線良鄕に於ける敵との對陣及房山附近の戰鬪に參加致し同戰鬪中負傷致したのでありますが其間に於ける[illegible]した上下一致と戰友第一線と銃後等の間に於ける各種の感激及現地の實狀の一端を述べ大日本帝國臣民であり皇軍の指揮官である事の有難さと皇軍の最強であるのは其依つて來る所がある事をお話申上度いと存じます